

Indonesia Weekly

2026年8月17日（対象期間：2026/8/10～2026/8/14）

【マーケット振り返り】

株式市場は、週の初めに下落して始まりましたが、14日に政府が公表した2027年度予算案の内容や、コモディティ輸出に関するプラボウォ大統領の演説が好感されたことを受け、エネルギー・素材関連株を中心に上昇したことなどを背景に市場が反発し、前週末比で小幅に下落しました。

債券市場では、インドネシア中央銀行（BI）の総裁候補が国会に提出されたことで市場の不透明感が後退したことや、14日に発表された2027年度の財政赤字目標が好感され、利回りは低下（価格は上昇）する展開となりました。インドネシア10年国債利回りは前週末比で低下しました。

為替市場では、前週末の米雇用統計が予想を下回ったことで9月FOMCでの利上げ観測が後退し、ドル安アジア通貨高の流れを受けてルピアは堅調なスタートとなりました。その後は原油価格の上昇がルピアの重石となりましたが、週末にかけてはプラボウォ大統領の国会演説において財政健全化方針が示されたことで買い戻しが入りました。ルピアは前週末比で対米ドルでは下落し、対円では上昇しました。

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移（2024年12月30日～2026年8月14日）



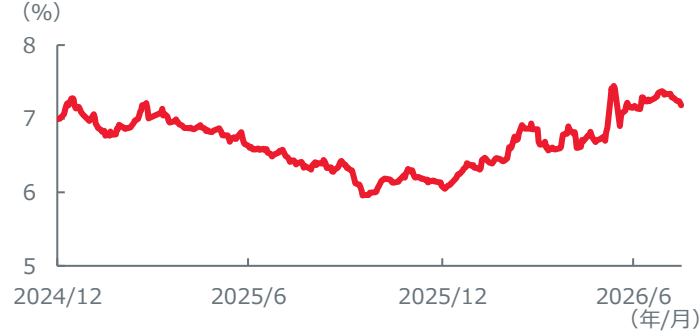
前週

2026/8/7	2026/8/14	変化率
6,409.65	6,401.89	-0.12%

年初来

2025/12/30	2026/8/14	変化率
8,646.94	6,401.89	-25.96%

【債券市場】 インドネシア自国通貨建て10年国債利回りの推移（2024年12月31日～2026年8月14日）



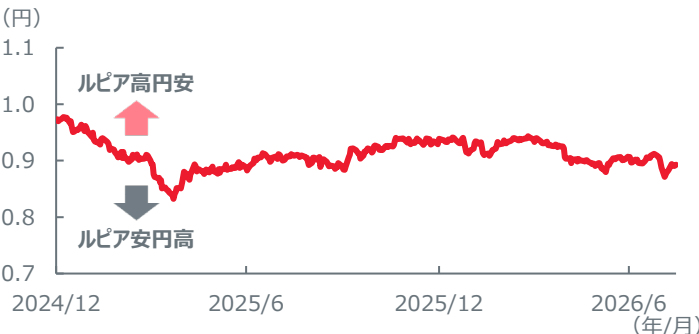
前週

2026/8/7	2026/8/14	変化幅
7.284	7.180	-0.104

年初来

2025/12/31	2026/8/14	変化幅
6.070	7.180	+1.110

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レート*の推移（2024年12月31日～2026年8月14日） *100インドネシアルピアの対円レート



前週

2026/8/7	2026/8/14	変化率
0.8844	0.8929	+0.96%

年初来

2025/12/31	2026/8/14	変化率
0.9390	0.8929	-4.91%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第379号／加入協会 一般社団法人資産運用業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社は関係がありません。